

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北陸)		スーパー（店長）	来客数の動き	・競合店が閉店することになって、来客数が増えて現状は上向きになっている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・販売が活発になっている。前年同期比で120%の状況である。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車、中古車の販売に関しては大きな動きはない。しかし、サービス売上は昨年実績をクリアしている。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・2月の販売量は、前年同月比135%の見込みである。3か月前の販売量は前年同月比で125%であったので、上向きである。
		自動車備品販売店（役員）	お客様の様子	・2月は車検、車販売の需要期に入る。予約件数や販売数量は前年から伸びている。車両メンテナンスによって、使用年数を維持する傾向は以前から変わらないが、よりお金を掛けてもしっかり整備する客が増えた。新車購入も以前よりグレードの高い車種を選ぶ傾向がみられる。
		一般レストラン（統括）	お客様の様子	・来客数が前年同期並みに戻ってきている。特に観光客が行き来する駅周辺、繁華街に立地する店の来客数が多い。
		タクシー運転手	販売量の動き	・あまり雪が降らず足場が良いにもかかわらず、タクシーを利用する人が一定数いる。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月に入っても、雪の日が例年に比べると少ない。しかし、寒さに関しては例年並みである。寒い日があり、平日の日中はタクシー利用がある。夜は利用客が少なく、週末だけである。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・契約数は継続して好調に推移している。特にインターネット、固定電話といった通信サービスが好調である。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・平日も含めて全体的に来客数が増えている。家族分の購入も含めて販売台数が伸びている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・この時期は例年どおりに、卒業や卒園などのイベント用のスーツやアンサンブルで目的買いがある。長く着れるものを吟味して買う傾向にある。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	販売量の動き	・官公庁需要により販売量が増えた反面、競争激化のために適正価格が崩れた。利益確保が難しい状態である。
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	お客様の様子	・北陸新幹線開業から間もなく2年が経過する。さすがに落ち着いてきたが、開業前と比較すると旅行者は断然多い。取引先の中には前年の売上を上回るどころが増えている。それらは、メニューを工夫したり、いろいろな趣向を盛り込んで売上増加の努力をしている取引先である。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・昨年ほうう年であったのに対して、今年はカレンダー上で1日少ない。そのため、前年の売上実績を若干下回る見込みである。今年の2月は、平年よりも少雪で外出しやすい状況であったにも関わらず、暖冬のため、冬物衣料や防寒用品の動きは鈍い。依然として客の財布のひもは固い。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・主力である衣料品に、回復傾向が感じられない。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・2月は、県内平野部では昨年以上に積雪がなかった。足回りが良かったが、来客数は微増で、販売量も微増にとどまった。節分やバレンタインなどの季節行事は、昨年並みで顕著な動向が見られなかったことから、変わっていないと考える。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・積雪が少なかったため来客数は微増となっている。1人当りの買上点数が増加したため客単価は上がった。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来客数は微増で、客単価も微増の状態が続いている。しかし、客の動向は出来上がった商品、即食べられるものよりも、カット野菜や冷凍食品などのひと手間かけても値段が少し安い食材を買う傾向がみられる。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・イベントに依存する店舗立地である。イベント日の天候次第で休日の売上は多少増減があり、ウィークデーは変化がみられない。
		コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・好天に恵まれ、来客数は回復の兆しが見えた。節分イベントは過去最高の盛り上がりとなった。

衣料品専門店 (経営者)	それ以外	・消費の弱い時はデリケートである。2月は春物が立ち上がる時期だが、来客数の動きは、ちょっとした気温の変化に影響を受ける。
衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・当店舗の数字は、総合的に悪くない。販売担当者によると、納得しているようであり、こんなものではないかと言っている。ひと安心している様子である。
衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・衣料品については、消費者の節約志向がいちばん強く出ている。天候にも影響されており、回復の兆しは感じられない。
家電量販店(店長)	販売量の動き	・新生活の家電品は、販売数が落ちている。
家電量販店(本部)	販売量の動き	・降雪などで天候に左右された面があるが、それを除けば変化はない。
乗用車販売店 (役員)	販売量の動き	・新型車種投入の効果で、受注は計画どおりに進んでいる。しかし、登録台数ベースでは、既存の販売車種の受注が低調であることと、新型車種の配車などの関係で計画台数に届いていない状況である。
住関連専門店 (役員)	販売量の動き	・催事やイベントでの集客を行っているが、売上のボリュームは変わらない。
その他小売 [ショッピング センター](統括)	来客数の動き	・前年と比較すると休日が1日少ない曜日めぐりとなっており、来客数は前年から微減となる。前年のシネマの大ヒットによる影響を差し引くと、前年並みか、やや良い状況で推移している。実際に、シネマ以外の業種の売上はほぼ前年並みとなっている。
高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・県外からの旅行客数は前年比80%程と低調だったが、地元町内会の新年会利用が例年より多かった。トータルでは例年並みにとどまっている。
スナック(経営者)	来客数の動き	・前年同月と変わらず売上は低空飛行の状態である。今月は全般的には良くないが、貸切が入るなどで何とか持ち直した。周りからも良い会話は聞かれない。
旅行代理店(所長)	販売量の動き	・株価や原油価格などが不透明な状況で、燃油サチャージが再導入された。春休みの受注状況は変わらない。
通信会社(店舗統括)	来客数の動き	・前半は来客数が多かったが、後半は落ち着いた。
通信会社(役員)	販売量の動き	・新規契約から解約を引いた商品やサービスの純増件数は、前年同月比でやや増加傾向にある。中期的な期間における好調さは維持している。
その他レジャー施設(総支配人)	来客数の動き	・大人の体験、入会希望が少しずつ出てきている。しかし、子供の退会が始まっている。全体としては、一進一退という状況である。
住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・受注状況は一進一退が続いている。好調期間が続かない。
住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・リフォームの受注件数に変化が見られない。
商店街(代表者)	お客様の様子	・バレンタインデーが久しぶりに平日となり、売上が土日に偏るようなことはなかった。盛り上がりには欠けたが、まずまずの人出だった。しかし、チョコレート以外への波及効果があまりなかった。
一般小売店[精肉](店長)	お客様の様子	・イベントが重ならないと、爆発的な集客ではなくなってきた。売出しによっては良い時もあれば悪い時もあるが、年末のような全体的な盛り上がりには欠けている。デイリーの集客が特に弱くなっている。
一般小売店[書籍](従業員)	販売量の動き	・新学期的繁忙期が近づいている。しかし、購入点数などは例年よりも少なく、買い控えの傾向がみられる。
百貨店(営業担当)	お客様の様子	・客の様子はまだまだシビアである。値下げしてある商品でも、必要かどうかを吟味して購入する傾向は変わらない。季節商材が年々売れなくなってきている。プレミアムフライデーの特別企画にしても、今一つ反応が良くない。
その他小売 [ショッピング センター]	販売量の動き	・厳しい寒さが続いたため、必要に合わせて冬物衣料、暖房機器や毛布などの住まいの品が好調だった。ただし、バーゲン時期でも客の購買は非常にシビアである。よく吟味した上で、必要以上には買わない。プレミアムフライデーに合わせて割引企画を仕掛けたが、実績は前年並みの数値で終わった。春需要に期待したいが、上がってくる様子にない。セレモニースーツやフォーマルといった新学期的需要のハレ企画を仕掛けているが、例年になく非常に出足が鈍い、悪い印象である。

	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・昨年9月以降は北陸新幹線開業効果が終息したようである。前年比で5%ほど集客人数が減少している。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・北陸新幹線開業効果が減少してきている。宿泊数が減少し、レストランの売上も減少している。
	通信会社（職員）	競争相手の様子	・競合他社の販促が活発化している。
	テーマパーク（役員）	来客数の動き	・客の動きをみると、2～3か月前と比べて訪日インバウンド客は順調に推移している。しかし、国内の団体旅行や個人旅行は減少傾向にある。全体で見るとやや悪くなっている。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・昨年の12月以降は来客数の減少が顕著である。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・2月は思ったほどは雪が降らなかった。来客数の動きは悪くなかったが、契約件数、契約金額共に減少している。契約までに今まで以上の日数がかかるとに加えて、契約後に金額を下げる変更の件数が増えたためである。
x	スーパー（店舗管理）	来客数の動き	・新年に入って来客数の減少、客単価の下落が顕著になっている。全体的に購買意欲の低下がうかがえる。
x	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・前年比で総売上75%、宿泊人数76%、宿泊単価98%である。団体、個人客共に前年を大きく割り込んだ。高単価商品の割合が低下していることに加え、バックツアーは最少催行人数に届かず、催行率が悪い状態である。
企業動向関連	*	*	*
(北陸)	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・国内市場の設備投資が伸びている。また、最先端の高性能加工機械が国内、海外共に受注できている。
	税理士（所長）	取引先の様子	・製造業は受注動向が好転している。2月からの受注が改善しており、今後の見通しもしっかりあると聞いている。建設業は県内の公共工事は厳しい様子だが、昨年末よりは状況が良くなっていると聞く。
	食料品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・米国の新大統領政権による影響が懸念されているが、今のところはそれほど感じない。
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・衣料の中では婦人衣料の状況が特に悪い。数量面では非常に減産している。非衣料については、まだ安定している。
	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・昨年よりも受注量が増加している。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・1～2月は小雪であったため、除雪の出動回数がわずかであった。手持ち工事量はそれほど多くない。しかし、とりたてて景気が悪くなっている状態ではない。
	建設業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・首都圏を除いて、受注価格競争は依然として厳しい状況が続いている。受注環境は厳しさを増している。
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・百貨店等の従来型小売業は、来客数があまり伸びていない。一方で、宿泊施設や飲食店等のサービス業は、今も北陸新幹線効果が持続し堅調であるとみられる。以上のプラス面とマイナス面を総合的に判断して、景気は変わらないと考える。
	金融業（融資担当）	受注量や販売量の動き	・建設業者からの工事保証の申込が、依然として低調のままで推移している。
	司法書士	取引先の様子	・会社の合併や営業譲渡といった、事業整理のための法人登記が多い。また、営業年度末を前に会社の解散も多い。
	精密機械器具製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・国内の大手取引先が、昨年末や春先の新商品仕入れシーズンに向けて、一定の在庫調整を行ってきた。しかし、未だに仕入制限を行っている客先が何社がある。
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者に話を聞くと、少しずつ動きが出てきているということである。
x	-	-	-
雇用関連			
(北陸)	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は、前年同月を上回る状況が続いている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率が24年ぶりに2倍を超えた。
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・企業の採用活動解禁前であるが、昨年と比べて学校への訪問件数が増えた。製造業を中心に採用活動が活発である。
	人材派遣会社（役員）	求職者数の動き	・派遣での求職者が一向に増えない。企業からの需要はやや増えつつあるが、マッチングが難しい。

	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・ 昨年の暮れまでは求職の新規登録者が多かったが、今年に入って激減している。
	求人情報誌製作 会社(編集者)	求人数の動き	・ 求人数がほとんど変わっていない。
	新聞社 [求人広 告] (担当者)	雇用形態の様子	・ 求人広告全体は、前年比で90%弱と伸び悩んでい る。しかし、内容はパート、アルバイトが大幅に減少 し、正社員の求人はむしろ増えている。また、各広告 枠で前の版の流用しても給与は上方修正するものが多 く、正社員の人手不足感は解消されていない状況がう かがえる。パート、アルバイトの求人広告の減少は、 媒体のネット募集への移行が更に進んでいるためと考 えられる。
	新聞社 [求人広 告] (役員)	求人数の動き	・ 2月の求人広告売上は、前年同月比で約4割の減少 であった。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・ 製造業、医療福祉、サービス業などの求人が増加傾 向にある。
	民間職業紹介機 関(経営者)	求人数の動き	・ 1～2月で受注数が減少している。一方で、フルタ イム勤務の希望者が少なく、短時間就業の登録者が増 えている。
	-	-	-
x	-	-	-